



さいたま市立宮原小学校 学校だより



令和8年4月30日第2号

学校教育目標 心身ともに健やかで主体的に生きる子どもの育成

・たがいに努める子(やる気)・たがいにきたえる子(元気)・たがいに手をとる子(勇気)

おはようございます！

井上 雅史

新しい学年が始まり、三週間ほどが経ちました。子どもたちは新しい学級や友達に少しずつ慣れてきたようで、学校では元気よく過ごす姿が多く見られます。一方で、環境の変化に緊張し「うまく話せない」と感じているお子さんも少なくないのでと思っています。

実は、私自身も子どもの頃は人見知りで、話したくてもなかなか声が出せないという経験をたくさんしてきました。特に、あまり親しくない人に自分から挨拶をするのは、とても勇気がいることだったと今でも覚えています。

昨年度、保護者の皆様ご願いした学校評価アンケートでのことです。「地域の中でどのような子どもに育ってほしいか」という自由記述の設問に対し、半数を超える57%の方から「あいさつを大切にしてほしい」というご意見をいただきました。さらに、「地域の人々との交流」や「ふれあい」といった言葉を含めると、全体の79%の方が「地域や身近な人との関わり」を大切にしたいと願っていることがわかりました。

現在、私は毎朝、公民館近くの横断歩道で登校指導を行っています。毎朝その場所を立つ日々のなかで、そこを通る本校の児童や保護者の皆様、中学生、そして小学校とは直接関係ないであろう地域の皆様までが、明るく「おはようございます」と挨拶を交わしてください。その温かい声に、私自身がいつも大きな力をもらい、元気よく一日をスタートすることができています。

本校では、これまでも「あいさつ」に力を入れて取り組んでまいりました。新しい環境に戸惑っていたり、昔の私のように心の力が出せなかったりして、自分から挨拶をするのが難しいと感じているお子さんもいるかと思います。一番身近にいる担任をはじめ、全教職員で子どもたちの様子を注意深く見守り、温かく丁寧に寄り添ってまいります。

そしてこれからも、宮原中学校や大宮別所小学校、地域自治会をはじめとする各団体の皆様としっかりと連携し、明るく気持ちの良いあいさつがあふれる学校・地域を目指して教育活動を進めてまいります。保護者の皆様におかれましても、引き続きの御理解と御協力をお願い申し上げます。

宮原小153歳！そして154年目へ

5月30日は宮原小学校の開校記念日です。昭和の時代には開校記念日は休業日でしたが、今では他の日と変わりません。年に一度の開校記念日ですので、母校（地域の学校）への理解を深める機会にできたらと思います。児童へは5月26日（火）の全校朝会で開校記念日について改めて話し、宮原小学校の伝統をつないでいきたいと思っています。

昨年度に続き、今回も宮原小のデータをご紹介します。いつもとは違った視点から宮原小を見ていただき、児童や卒業生の皆さん、地域の皆様が母校・地域の学校に誇りを感じることができるとなれば幸いです。

○明治 6年（1873年）5月30日 吉祥院を校舎として開校し加茂学校と名付ける

○明治16年（1883年）5月30日 校舎を現所在地に建て、移る

○卒業生の総人数 14,802人以上（記録明治23年から）

○教職員の総人数 約 1,120人（途中データ欠損や重複があるため概数）

○倉位時と現在の比較

	倉位時	100年 昭和48年	現在 令和8年
児童数	80人	1,862人	1,018人
学級数	?	44学級	36学級
教職員数	3人	65人	72人

※教職員は資料から読み取れる人数で教師以外の職種を含みます

○昭和33年児童数が1,000人を超える（1,065人 22学級）

○昭和49年別所小学校分離（約490名が別所小へ。44学級→36学級）

○昭和55年泰平小学校へ一部分離（70名が泰平小へ 39学級→38学級）

○平成21年つばさ小学校へ一部分離（105名がつばさ小へ 35学級→32学級）

※井上调べ（現存の資料から読み取れる範囲のデータになります）

※校長室には宮原小の歴史を記した様々な資料が保存されています。特に創立100周年記念誌には倉位時から昭和48年までの宮原小や宮原地域の詳しい歴史が記されています。ご覧になりたい方は校長までお声がけください